



2月! 毎日、さむい!でも、チョコレートと笑顔と愛があると暖かいね!
ポーポキは、マスクをしたり、ディスタンスしたりしているけれど、ハッピー!
ポーポキは、あなたと友だちになってうれしい。あなたも喜んでいるといいね。

Popoki's Hot News!



ポーポキのマスクギャラリー動画!

ぜひ見てくださいね!

<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのヨキクにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。



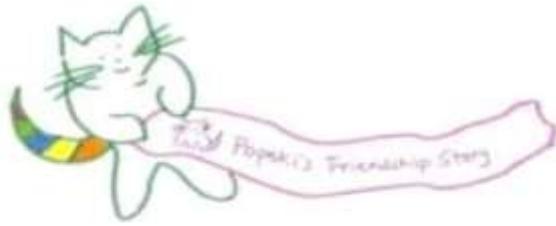
「最近、新しい友だちができました。大学での新入生です。彼はアルゼンチン出身です。時々、一人で外国に住んでいると、とてもしんどくなります。彼も私も外国人なので、知り合って、友情を築いていくことができるのはとてもうれしいです。

彼は、お茶と違う植物からなるけれど、彼の文化の「マテ」を紹介してくれます。マテを飲むと、私たちは落ち着いてリラックスできます。マテは私たちの心に平和をもたらします。ときどき、マテやお茶を飲むという簡単なことでも平和を見つけることができます。あなたはどのように平和を探し出すかを教えてくださいませんか？」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか? ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) !





Popoki's Interview

*新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、ドイツの話です。

ドイツにおけるコロナウイルスの現状

インタビュー者: 阿佐優花

こんにちは、阿佐優花（あさゆうか）です。今回は私の友人である、マーシャさんに「あなたの住んでいる国とコロナウイルス」という比較的大きなテーマでインタビューをしました。なぜなら、彼女にコロナウイルスの状況を自由に表現していただきたかったからです。

マーシャさん: 彼女はドイツにおけるコロナウイルスの様子を報告してくれました。

最近のドイツの状況としては、コロナ前と変わらない日常に戻りつつあると言えるでしょう。例えば、人々はお店の中でマスクを着用し続けていますが、お店は営業していますし、街に人が戻りつつあります。ドイツはコロナ対策のためにルールをたくさん作りましたが、それらは便利なものもあれば、そうでないものもたくさんあるのです。そのため、今回はあまり必要ではない感染防止のためのルールをご紹介します。

これらの写真はすべてコロナウイルス感染拡大防止のためのルールです。例えば、こんなルールがあります。アイスクリームを購入するときは、店の前で溶けてきたアイスクリームを食べることを許される一方で、溶けていない部分のアイスクリーム（今すぐ食べなくても、溶けて下に落ちない部分）を食べるときは、お店から少なくとも 50m ほど離れなければなりません。



図 1: 店の前

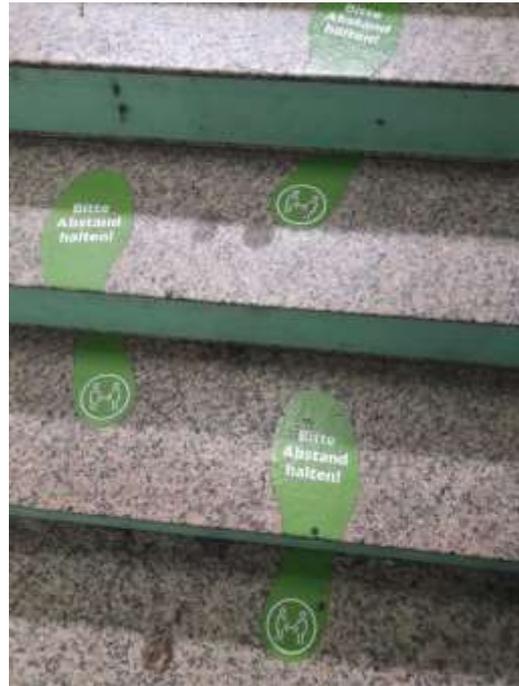


図 2: ソーシャルディスタンスへの注意書

き

意味のない感染防止のためのルールのもう 1 つは、スーパーマーケットの入店時にショッピングカートを使用することを推奨していることです。このルールの目的はカートを持つことで生じる、他の人との間のソーシャルディスタンスです。しかし、それは店内が一方通行である場合のみ有効であり、通常のスーパーマーケットではあまり意味をなしません。また、買い物カートは使用後に消毒をされないことから、他の人が触ったカートを利用して買い物をすることは、果たして感染予防になっているのでしょうか。私はカートを持たずに入店したほうが、よっぽど感染症防止になると思います。

しかし、私たちは食料品を買わなければならないので、そのルールに従わなければなりません。確かにほとんどのルールは有用です（例えば、マスク、消毒、ソーシャルディスタンス等）。しかしながら、これら 2 つのルールは果たして本当に必要なのでしょうか。



図 3: 新たなルール



図 4: お店の入り口



図 5: 閉鎖された駅の待合室



図 6: 感染防止のための新ルール

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 154

今月のテーマは、スイング！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、立って、足を広げましょう。手を伸ばして、右手で左の足首の外側をタッチ。今度は左手で右足首の外側をタッチ。上下ではなく、左右に動き、それぞれの足を10回ずつタッチしましょう！
 3. 次は、立って、手を伸ばしながら上へ！今度は手を前へスイング！膝を曲げて手で床をタッチしてから逆の動きで上へスイング。10回繰り返しましょう。膝が足首より前へ出ないように気を付けてね。
 4. 今度は回す！手をあげて右から体で大きな円を書くよう体の前の床を通して、左側からまた上がっていきましょう。3回繰り返してから、今度は反対方向。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：3月15日 Zoom会議 19:00～* ポ一年会も！

***リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

~~2.26 (予定) 大槌町立大槌中学校の3年生とワークショップ。~~

~~3.10-31 (予定)~~

コロナのために私たちの参加を中止→ビデオメッセージ！

~~展示。~~

~~力研究科、協力：ポーポキ~~

~~会、神戸大学大学院国際協~~

~~会場：おおふなぼーと~~

ポーポキの友だちからのおすすめの本

『りょうくんのすすむみち—学校に行けない君たちへ—』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。

大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7

Popoki in Print ポーポキ通信のバックナンバー<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑯(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『「ポーポキ、友情って、なに色?」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10



私にとってポーポキ

べさにゃん

私がポーポキに出会ったのは、2年前です。他の人のように、ろにゃんにポーポキを紹介してもらいました。虹？猫？もちろん、すぐに興味を抱きました。

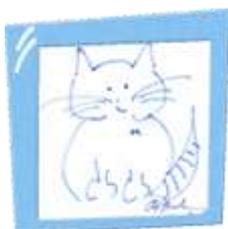
次第に、ポーポキは、人によって異なる姿(解釈)を与えてくれると感じるようになりました。ろにゃんと、いかに私たちの平和に対する考え方が異なるかということと話したことがあります。「正解」なんてなくて、むしろ、「自分自身」の中にそれぞれの答えがあると思います。そのすべての答えが、私たちの感情のように、妥当なものだと思います。

眠いポーポキや嬉しいポーポキの姿を見るのも楽しいですが、私にとって一番興味を引くのは怒っているポーポキです。多くの方は、多分、怒りが平和となんの関係があるのかと疑問に思うでしょう。正反対だと断言する人もいるかもしれませんが、私は、平和には怒りが重要であると思います。子どもの頃、私はずっと怒りの感情を持ち続けていました。一生懸命にその感情を埋めようとしたのですが、怒りの感情をもっていることに罪悪感もありました。その罪悪感は、ますます膨らみ、怒りよりも酷くなりました。しかし、私はただ単にその怒りは妥当であると認識し、受け入れたことで、感情は治りました。

甘いケーキを食べて平和を感じる人もいれば、辛いカレーを食べて平和を感じる人もいます。ある人にとっては幸せを感じるものも、他の人にとっては辛いとすることがあります。この世の中には、沢山の人がいて、異なった体験をし、異なった長所があり、異なった短所もあるがゆえに、傷つけられたり、傷つけたりすることを完全に避けるのは不可能です。大切なのは、感情のバランスを保つことができるように、その気持ちの妥当性を認識し、楽観的な行動に変えるよう協力し合うことだと思います。

ポーポキは、私にとって、このような教訓を思い起こさせてくれる存在です。私は子どもたちにポーポキについて教えることを非常に楽しんでます。大人は、子どもたちへ何を感じるべきか、何を感じるべきではないかを教えることはたくさんありますが、子どもたち自身の感情を伝える方法を教えていません。現在、多くの方が分断されていると感じたり、自分のことや他人のことを受け入れることに困難を感じたりしている時、ポーポキは多くの人を助けてくれることでしょう。





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!